

アスリートトークショー 出演者紹介

鈴木
靖
さん



■競技 スピードスケート
■出場歴 サラエボオリンピック日本代表
■出身地 むかわ町

二條
実穂
さん



■競技 車いすテニス
■出場歴 リオパラリンピック 女子ダブルス 4位
■出身地 深川市

船山
弓枝
さん



■競技 カーリング
■出場歴 ソルトレークシティオリンピック 8位
トリノオリンピック 7位
ソチオリンピック 5位
■出身地 北見市常呂町

パラスポーツ体験会 競技紹介

※体験競技は随時更新します。詳しくは北海道スポーツ振興課HPをご覧ください。

ボッチャ

重度の脳性まひなど四肢に障がいのある方のために考案されたスポーツ。

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競います。



車いすラグビー

四肢に障がいのある選手が、競技専用の車いすを操作して行う競技。

車いす競技の中で、唯一フルコンタクトが認められていて、障がいの程度に応じてクラス分けされています。1チーム4名で、合計点数が「8.0」と決まっているため、より障がいの重い人でも、選手として活躍の場があります。



ブラインドサッカー

視覚障がいのある選手が行うサッカー。

選手はアイマスクをつけて、ボールに入っている鈴の音とゴール裏にいるガイドの声を頼りにプレーします。国際大会は全盲の選手しか出場できませんが、国内大会は障がいがなくても選手として登録ができ、試合に参加できます。



電動車いすサッカー

電動車いすの前にフットガードを取り付けて行う「足で蹴らないサッカー」。

自立した歩行ができないなど比較的重度の障がいを持った選手が多く、ジョイスティック型のコントローラーを手や顎などで操りプレーします。国内ではスピードが10km以下と6km以下の2つのカテゴリーがあります。



参加にあたっての注意事項

- (1)動きやすい服装でご参加ください。
- (2)飲み物、タオル、その他必要なものは各自でご用意ください。
- (3)健康管理に十分留意の上、ご参加ください。
- (4)主催者において、普通傷害保険(レクリエーション保健)に加入します。補償は保険の範囲内で行います。
- (5)主催者または各種報道機関が本事業の様子等を撮影し、撮影した写真、映像をホームページ、新聞、雑誌、広報資料等に使用する場合があります。撮影に支障がある場合は、事前にお申し出ください。

北海道パラアスリート発掘プロジェクト

北海道では、パラリンピックなどの国際大会に向けて、多くのどさんこ選手が国際舞台で活躍することを目指し、パラアスリートを発掘するプロジェクトを実施しています。令和2年度の実施スケジュールは北海道スポーツ振興課HPでお知らせ予定です。

◆パラリンピックに出場できる障がい

上肢／下肢の筋力低下、上肢／下肢の先天性欠損・切断、肩／肘／股関節／膝／足首の屈曲制限、低身長、脳原性麻痺、車いす使用者、義足使用者、視覚障がい(視覚・視野)、知的障がい

※競技ごとに出場できる障がいが異なり、定められた最小限の障がい基準があります。※障害者手帳の有無は関係ありません。